

び学校の進路に対する積極的な指導体制の確立に努める。

二 発達段階に応じた進路指導の充実を図る

高校生活への適応指導に始まり、自己理解、進路設計、進路の選択・決定及び卒業後の追指導に至る一連の進路指導を、生徒の発達段階に応じて計画的・継続的に進めるよう、進路指導部とクラス担任との有機的な連携指導を推進する。

三 ロングホームルームでの進路指導の充実に努める

成長に応じた発達課題をロングホームルームの中で考えさせ、これを成し遂げることににより進路意識が発達することから、ロングホームルームの役割は極めて重要であり、さらにロングホームルームにおける進路指導の充実に努める。

四 進路と結びついた目的意識の醸成に努める

生徒の多様化に伴い、目的意識の明確でない生徒が増加していることから、生徒の早期進路意識の喚起と進路にかかわる目的意識の醸成に努める。

五 家庭や、地域社会との連携に留意し、生徒の個別指導を強化する

生徒の能力・適性・進路希望等を的確に把握し、個々の生徒の必要に応じた適切な進路指導を行うように努め、家庭や地域社会との連携を一層密にする。

生徒指導

生徒指導は、すべての生徒を対象とし、一人一人をかけがえのない主体的な存在としてとらえ、その個性を尊重し、個性の伸長を図るとともに社会的資質や行動を高め、自己指導能力を育てようとするものである。また、生徒の現在の生活に即しながら具体的に、実際の活動として進められるべきものである。

一 教師の共通理解を深め、校内指導体制の充実改善を図る

(一) 日常の教育活動をおして、生徒指導についての教師の共通理解を深めるとともに、生徒の実態を的確に把握し、自校の生徒指導上の課題を明確にして、学校をあげて効果的な指導活動の推進に努める。

(二) 生徒指導の組織が学校の教育活動

の中で十分に機能するよう、すべての教師が各自の役割を果たすとともに相互に助け合って組織を生かして指導に当たる。

(三) 生徒指導についての研修を組織的

・計画的に実施し、研修と実践の一体化を図りながら、指導力の向上に努める。

(四) 日常の観察指導を通して、問題徴

候を早期に発見し、早期に適切な指導ができる体制の整備に努める。

二 生徒理解の深化を図り、学校生活への適応を進める

(一) 日常の観察と接触を重視するとともに、各種の調査、検査をおして生徒理解の深化を図る。更に、ホームルーム担任、教科担任、部顧問等の連携を通して生徒を多角的・多面的に理解するよう努める。

(二) ホームルーム経営の充実改善に努めて、好ましい人間関係の育成を促すため、ホームルーム担任を中心として行う相談活動を充実し、共感的理解を図る。

(三) すべての生徒が、集団の中で、不満や疎外感を持つことなく、それぞれの能力や特性を発揮しうるように教育相談体制の整備充実を努める。

三 集団生活における規律の維持向上に努める

(一) 民主的な雰囲気高め、一人一人の集団に対する所属意識や、連帯感の高揚に努める。

(二) 基本的な生活習慣の確立に努めるとともに、ルール遵守の気風を醸成し、集団生活における秩序と規律の維持に努める。

(三) 生徒の自主活動を育成し、集団の相互作用によって、自主的・自律的生活の推進を図る。

四 家庭及び、中学校との連携を密にし、地域ぐるみの生活指導の推進を図る

(一) 家庭に対しては、学校の教育目標や指導方針について理解と協力を得るとともに、家庭教育の充実を図るための啓発に努める。

(二) 中・高連携の組織や方法に改善を加え、相互の信頼関係に基づく中・高一貫の生徒指導の推進を図る。

(三) 地域の関係諸機関・諸団体との連携を密にし、地域におけるすべての学校のあらゆる生徒を対象とした指導体制の整備に努める。

(四) 地域ぐるみの補導活動や研修活動の充実を図るとともに、環境浄化運動や生徒の社会参加活動の推進にも努める。

